

探究を支えるグループファシリテート力協働開発プログラムの展開について

本プログラムの展開に至った背景

令和5年度から、教職員支援機構（NITS）では、職員が当機構主催の研修等で研修参加者の探究を支えるグループファシリテーターを担ってきました。その中で、いくつか課題も見えてきました。特に感じたのは、グループファシリテーターの役割がはっきりしない中で、どのように対話をファシリテートすればよいのか迷う場面があったということです。

これまでは、「上手なファシリテーターになる必要はなく、よい聞き手になることが大切」という共通認識で進めてきましたが、職員一人一人のファシリテートに対する受け止め方に違いがあり、グループによって対話の深まり方にも差が見られました。

「グループファシリテーターはこうでなければならない」と形を決めるわけではありませんが、役割や在り方について私たちと本プログラムの参加者がグループファシリテーターとしての実践もあわせて考えていくことで、研修参加者の対話や探究をよりしっかり支えることができるのではないかと——そんな思いから、このプログラムを企画することに至りました。

概要

探究を支えるグループファシリテート力協働開発プログラムは、上記のように NITS が「研修観の転換」に向けてこれまで試行錯誤しながら開発してきた探究型研修におけるグループファシリテーターの役割や在り方について、全国の研修担当者等と協働的に学び、探究していくものです。そのため、いわゆる一方向的に知識や手法等を伝達するためのプログラムではありません。本プログラムでは、探究に向かう教職員の学びを支えるファシリテートとは何かについて、参加者自身の気づきと探究のプロセスを大切にしたい学びの場を創出します。

本プログラムでは、具体的に次のようなことを重視します。

- ・ 学び手を主語とした学びの視点の体験的理解
- ・ 問いを見つけ、計画を立て、実践し、振り返りや対話を通して視座の広がりや新たな問いに気づき、実践の改善を図る発展的なサイクルを意識
- ・ 将来に渡って、共に探究していくコミュニティの形成

探究を支えるグループファシリテート力の在り方については、NITS でも試行錯誤を続けている課題です。私たちも参加者とともに学び合い、探究します。

(別紙)

探究を支えるグループファシリテート力協働開発プログラムの展開について

プログラム全体の流れ

【プログラム】 ※内容は現時点の予定であり、今後変更となる可能性があります。

プログラム 1か月前 ※予定	令和7年8月4日～令和7年8月5日	令和7年8月6日～令和7年8月8日	令和7年8月20日～令和7年8月21日	令和7年12月11日	令和7年8月25日	令和7年12月8日
	共通					
事前説明会	対面 (※対面を基本とする。 ただし、B, Cコース参加 者に限りオンライン参加 も可能) 1日目：9:15～17:00 2日目：8:45～17:00 (※ただし、2日目はB, C コースは15:00まで) グ ル ー プ セ ツ 講 義 ヨ ン 演 習、 (内 省・ 対 話)					
		Aコース				
		対面研修 1日目：9:15～17:00 2日目：8:45～17:00 3日目：8:45～15:00 グループファシリテーター (探究型中央研修(探究的な学び 1年コース))				
			Bコース			
			オンライン研修 1日目：9:00～17:00 2日目：9:00～17:00 グループファシリテーター (特定課題探究研修(生徒支援))	オンライン研修 9:00～17:00		
					Cコース	
					オンライン研修 9:00～17:00 グループファシリテーター (特定課題探究研修(働き方改革))	オンライン研修 9:00～17:00

NITS が考える「新たな教職員の学び」や「研修観の転換」について、また、「コア研修」をはじめとした「探究型研修」への取組については、NITS の Web ページにて随時発信しています。

(<https://www.nits.go.jp/about/strategy/>)

